



令和7年度 八尾支援学校夏季研修 実施要項



窓口：八尾支援学校 LS 田崎榛菜・金川和也

1. テーマ : 深い子ども理解に基づく支援 ～その子の行動の背景を考え、その子の将来を見据えて～
2. 目的 : (1) 地域の学校園および支援学校の教員の特別支援教育に対する専門性を高める。
(2) 教育実践のヒント、地域の先生方との交流の場となるようにする。
3. 対象 : 中河内地区幼小中高教職員、大阪府立支援学校教職員、大阪府内の学校園関係者
4. 日時 : 7月23日(水)～7月25日(金)
5. 申込 : 別紙申込用紙をご参照ください。
6. 展示 : 研修期間中、**第1美術室**にて教材展示を行っております。
※写真撮影が可能です。例年実施しておりました教材データの配布は実施いたしません。
7. 内容 : 2ページ目の一覧表をご参照ください。
8. その他
 - ・午前午後にまたがって受講される方が昼食に使用していただける教室については、当日お知らせします。
 - ・定員(集合型研修の会場の定員が100名)に達した場合、本校の別会場にてオンライン受講していただくことがあります。受講人数自体に制限はありませんので、受講可否についてこちらからお知らせをすることはありません。
 - ・欠席連絡は以下の通り受け付けます。
 - 前日まで：八尾支援学校 LS 田崎 (t-tasakiha@medu.pref-osaka.ed.jp) 宛にご連絡ください。
 - 当日の急な欠席について：090-4190-1934 八尾支援学校まで(当日のみの電話番号です。研修時間・来校相談時間内は対応できません)
 - ・当日の持ち物：名札、スリッパ、靴袋、バインダー。

●7月23日（水）

研修番号・日程	演題・研修内容
A 7月23日（水） 10:00～12:00 受付 9:30～	<u>体づくり運動・幼児体育・集団作りに活かすムーブメント教育・療法</u> 講師：日本ムーブメント教育・療法協会 大阪支部 金井典子 氏・塩谷真弓 氏 大阪府立八尾支援学校 リーディングスタッフ 金川和也 ムーブメント教育・療法とは、子ども（対象者）の自主性・自発性を尊重し、子ども自身が動くことを学び、動きを通して「からだ（動くこと）」、「あたま（考えること）」、「こころ（感じること）」の調和のとれた発達を援助する教育・療法です。今年は基本的な理論を学び、実技を通して体づくり運動や幼児体育、集団作りに取り入れることができる内容を学びます。実技講座になりますので、動きやすい服装、体育館シューズ、水分をご持参ください。
B 7月23日（水） 13:30～16:20	<u>来校相談会 ～中河内地域の学校園の先生方向け 個別の相談会～</u> 本校の地域支援担当チームがお話を伺います。※別紙「来校相談の案内」参照 ①13:30～14:20 ②14:30～15:20 ③15:30～16:20 受付は各開始 5 分前

●7月24日（木）

研修番号・日程	演題・研修内容
C 7月24日（木） 10:00～12:00 受付 9:30～	<u>『大空へはばたこう 自立への挑戦』～入所施設から地域へ～</u> 講師：社会福祉法人 創思苑 西野貴善 氏 強度行動障がいのある当事者がさまざまな制度を利用しながら入所施設を出たあと、地域での自立をめざして一人暮らしを始めるまでのプロセスと、地域での生活実践の記録を豊富な映像記録と共に紹介していただきます。将来、子どもたちが社会の中で自分らしく生きていくために、知的障がい者の地域移行に向けての自立支援の実際と展望について、ヒントや取り組みを知る良い機会になるでしょう。グループワークもあります。
D 7月24日（木） 13:30～15:30 受付 13:00～	<u>アタッチメントの視点で、こどもに寄り添ってみよう</u> 講師：公認心理師/臨床心理士 太田あかね 氏 アタッチメント（愛着）は人間が危機的な状況に陥ったときに、特定の他者とくっつく（attach）ことで危機感や不安感を取り除いてもらい、落ち着きを取り戻そうとする本能です。これは、親子関係のみでなく、生涯の中で様々な関係で育まれていきます。太田先生にアタッチメントについてのお話を頂いた後、アタッチメントの視点から架空事例によるグループワークを行い、その子が本当に望むものは何なのか、どう寄り添うのかを皆さんで考えてみましょう。

●7月25日（金）

研修番号・日程	演題・研修内容
E 7月25日（金） 10:00～12:00 受付 9:30～	<u>主体的・対話的で深い学び／「どうして？わかった！もっとやりたい！」と感じる授業をめざして</u> 講師：大阪府立八尾支援学校 教諭・日本防災士会 神田崇 知的障がい、発達障がいのある子どもたちが「前のめり」の姿勢で参加し、防災力を高める授業をめざしています。本研修では社会科・理科における「防災教育」を紹介します。授業を受ける子どもの立場になって参加してみてください。支援の必要な子どもたちにとってわかりやすい授業にはユニバーサルデザインの観点が随所にあり、通常の教室の子どもたちにとっても「どうして？わかった！もっとやりたい！」と感じる授業になると思います。AirDrop 機能搭載の端末（iPhone、iPad、MacBook 等）をご持参いただくと、模擬授業内にて教材の送受信を体験していただくことができます。
F 7月25日（金） 13:30～15:30 受付 13:00～	<u>困り感のある生徒とつまずきを乗り越える～高等学校で行われた取り組みの紹介～</u> 講師：大阪府立かわち野高等学校 教育支援委員長 児山靖治 氏 困り感のある生徒の進級、卒業に当たり、校内体制及び外部機関連携体制を整え機能させていったことを中心に、実践してきたことの報告をいただきます。実際に近い事例の紹介、グループワークもおこないます。校種の違う先生同士で、児童生徒理解を深めましょう。幼少中の先生方は、気になる子どもが高校に進学したこと、そしてその先を想定し、キャリア教育の観点で一緒に考えてみて下さい。今取り組むべきことが見えてくるのではないのでしょうか。